

公 表 日
令和 年 月 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和元年度 城原川ダム環境影響検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 武雄河川事務所長 藤本 幸司 佐賀県武雄市武雄町大字昭和745
契約年月日	令和 元年 8月20日
契約業者名	令和元年度 城原川ダム環境影響検討業務日本工営・水源地環境センター設計
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区東比恵1-2-12
契約金額	12,364,000円(税込み)
予定価格	12,364,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	佐賀県神埼市
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 元年 8月21日
履行期間(至)	令和 2年 3月13日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和元年度 城原川ダム環境影響検討業務
2. 履行場所 佐賀県佐賀市
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市博多区東比恵1丁目2番12号
会社名：令和元年度 城原川ダム環境影響検討業務日本工営・水源地環境センター設計共
同体
電 話：(092)475-7131
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、城原川ダム事業の環境影響評価の一環として、過年度に実施した現地調査結果を踏まえ、影響予測、環境保全措置の検討を行うものである。

2) 業務の内容

①計画準備	1式
②環境影響評価	1式
③環境保全措置の検討	1式
④学識者ヒアリング	1式
⑤報告書作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低80者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

また「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」、「実施手順」における「実施フロー」と「工程計画」及び「その他」における「有益な代替案、重要事項の指摘」の妥当性が優れていること、かつ評価テーマの「城原川ダムにおける環境影響予測評価の留意点について」に対する技術提案において、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

武雄河川事務所 開発調査課長